

荒川区国際交流協会

事務局便り9月号

2014年9月11日発行
荒川区国際交流協会事務局
東京都荒川区荒川2-2-3
荒川区役所地域文化スポーツ部
文化交流推進課内
<http://www.arakawa-kokusai.com>
E-mail:bunka@city.arakawa.tokyo.jp
Tel:3802-3798 Fax:3802-4769

今後の事業予定

コミュニティ通訳ボランティア養成講座～入門編～ 参加者募集！

母親学級、母子健診を受ける方の中には、日本語が不自由な外国出身の方が年々増えています。本講座では、このような外国出身者を支援するために必要な知識と技術を学びます。

日時 10月4日(土曜日)午前9時～12時

場所 荒川区生涯学習センター 3階 大会議室

講師 萩村 哲郎氏(地域国際化推進アドバイザー、神奈川大学非常勤講師)

対象 区内在住、在勤の方で、外国語を日常会話以上話せる方

外国出身の方は、日本語能力試験1級、または同レベルを有する方

本講座修了後、コミュニティ通訳ボランティアとして登録、活動できる方

定員 40名(申込順)

費用 無料 **事前の申込みが必要です。**

申込方法 氏名(読み仮名)、住所、連絡先、通訳できる言語を明記の上、電話・FAXまたはEmailで、荒川区国際交流協会までお申込みください。

申込締切 10月3日(金曜日)

日唄親善 ピアノ&ヴァイオリン デュオリサイタル を開催します

オーストリアの若手ピアニストとヴァイオリニストのリサイタルです。

音楽の都 オーストリアの奏者による、美しいハーモニーをお楽しみください。

日時 10月14日(火曜日)

午後7時～8時半(開場は午後6時半)

場所 日暮里サニーホール

募集人員 150名

費用 無料 **事前申し込みが必要です。**

申込方法 往復はがきに、代表者の住所、人数、全員の氏名、年齢、電話番号、学校名(在学の方)を明記し、荒川区国際交流協会までお申込みください。

申込締切 10月6日(月曜日) 必着



ピアノ：フィリップ・ラスキン
ヴァイオリン：ヨハネス・フライシュマン

後援事業

たぶんか ユースフェスタ 2014

外国にルーツを持つ子ども達のステージパフォーマンスや、世界各国の屋台など、多様な文化を知って楽しめるイベントです。

日時 9月23日(火曜日・祝日) 午前11時～午後4時

荒天の場合は中止

場所 あらかわ遊園遊歩道(都電「荒川遊園地前」駅下車、徒歩3分)

問合せ 特定非営利法人 多文化共生センター東京

Tel 03-6807-7937 email tokyo@tabunka.jp



事業報告

荒川区海外交流都市 ウィーン市ドナウシュタット区高校生が来区しました

ドナウシュタット区の高中生5名と引率者1名が、8月14日(木曜日)～24日(日曜日)まで荒川区を訪れました。派遣生達は、7月にウィーンを派遣されていた荒川区派遣生宅でホームステイしながら、都内見学や日本の伝統文化を体験しました。荒川区の伝統工芸体験スポット「三味線かとう」での三味線体験、荒川区国際交流協会の茶道教室、華道教室の講師とボランティアの皆様のご協力を得て、茶道・華道体験を通して、日本の伝統文化に触れていただきました。

この事業に協賛、ご協力いただいた東京荒川ライオンズクラブ様、ホストファミリーの皆様、ボランティアの皆様、思い出に残る温かい交流をありがとうございました。



【西川区長とウィーン高校生及び海外インターン生】



【茶道・華道体験】

海外インターン生 研修レポート

8月からの1ヶ月、ウィーン大学生2名とオレゴン州立大学生1名をインターン生として受け入れました。大学生達は、国際交流協会事業の運営補助や区役所の様々な部署の仕事に携わりました。研修期間中は、区内のホストファミリー宅に滞在し、日本の生活を経験しました。

家族として温かく迎えていただいたホストファミリーの皆様、ありがとうございました。

自己紹介 Sandra Wohlauf

初めまして、サンドラ・ポーラフと申します。私は以前から日本語、また日本の文化に関心を持っていましたが、日本語を全く話せませんでした。高校を卒業してから東京の日本語学校に1年間ほど留学しました。当時18歳の私にとって、この留学はとても印象に残った経験だったので、帰国して大好きな日本語の勉強を続けるために、ウィーン大学の日本語学科に入学しました。

研修について

8月から1ヶ月ほど荒川区役所にて研修をさせていただきましたが、私はこのインターンシップに応募した時、どうなるか、何を予想すればいいか、分かりませんでした。今まで学生や観光客として日本へ来たにすぎない私にとって、今回の研修は新しい経験となり、一生忘れられないものになりました。

そして今、日本のどこが一番よかったか、何が一番印象に残ったか、私はなかなか決めかねています。

研修では、高齢者の研究に関して色々教えていただき、また、5日間ボランティアとして働いていた保育園では、今まで経験したことがないことを経験しました。私には妹も弟もいなくて、急に20人ぐらゐの子供たちに囲まれたので、毎日とても疲れましたが、子供たちがかわいくてとても良かったです。最後の日に、子供たちが私を描いた絵を本にしてくれました。とても大事にしたいと思います。

私は、通訳やガイドなどするのが大好きで、一番楽しみにしていたのはウィーン市ドナウスタットの高校生との交流プログラムでしたが、日本人の通訳者とともに通訳しました。そして、高校生の5人と一緒に東京および富士山と箱根を冒険して、インターンシップ生の私たちも茶道や華道のような日本の伝統的な文化を経験させていただくことができ、とても嬉しく思いました。将来、マスコミにの仕事に就きたいと思う私にとって、一番勉強になったのは、やはり荒川ケーブルテレビにての2日間でした。街に出て、様々な人をインタビューしたり、自分もインタビューされたりするのがとても面白かったです。

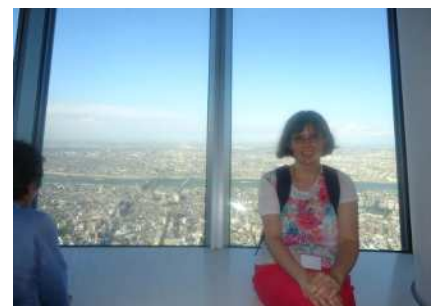
4週間の研修は疲れる時も、またチャレンジした時もありましたが、私にとっては大変勉強になり、大人への階段を一つ上がるものだと考えています。

私は、区役所とホストファミリーの皆様に変にお世話になりました。このインターンシップでは、日本での就職経験はもちろん、様々な文化交流もできました。皆様のおかげでとても素晴らしい1ヶ月が過ぎて、言葉にできないくらい感謝しております。(^^)v



自己紹介 Julia Scheib

ユーリア・シャイブと申します。ウィーン大学の2年生で日本学の勉強をしています。日本語はとてもきれいですが難しい言語だと思います。だから、私は日本語を上達して新しい経験をするために荒川区役所での研修に参加しました。将来は翻訳関係の仕事がしたいので、絶対にまた日本に戻りたいです。



研修について

私は、8月6日から9月4日まで荒川区役所の文化交流推進課で研修しました。その間、荒川区でホームステイしました。最初の5日間は荒川保育園で働きました。5歳のグループの子供たちと一緒に遊んだり、昼ごはんを食べたり、プールで泳いだりしました。私には弟も妹もいませので面白い経験でした。8月13日から8月24日まで荒川区に滞在していたウィーン高校生5人に同行し、通訳したり日本の文化についての質問に答えたりしました。8月15日には、荒川区長とお会いしました。私とウィーンから来た高校生は自己紹介をして、滞在予定について区長と話しました。平日は、江戸東京博物館、素盞雄神社、浅草、浅草寺、東京スカイツリー、富士山、箱根、講道館、後樂園、明治神宮や東京ドームなどに行きました。

ウィーンの高校生がオーストリアに帰った後、私は南千住図書館で働きました。本を片つけてポスターを飾るために折り紙と切り紙をしました。次に2日間荒川ケーブルテレビで働きました。その後の仕事は区役所で文書の翻訳をしました。私は翻訳関係の仕事をしたいので、いい練習だったと思います。

区役所で研修するのは、本当に面白い経験でした。それに、ホストファミリーとよく日本語で話したので、上達できたと思います。いろいろな仕事をするチャンスがあったので、自分の長所も短所ももっと知ることができました。私は、今年の2月にも東京に滞在しましたが、この研修でまだ日本文化と日本人について知らないことがたくさんあると気が付きました。だから絶対にまた日本に戻りたいです。

自己紹介 Daniel Hong

アメリカのオレゴン州立大学、3年生のダニエルです。日本語を3年ほど勉強していました。日本の文化が好きなので、もっと日本語と日本についての勉強をしたいと思っています。インターンシップで日本に来る前に、高校生の時に旅行で1週間日本に来ました。それもきっかけでまた日本に来たいと思いました。

研修について

毎日皆さんが私の知らない日本語を教えてくださいました。日本の方々はいつでもやさしく接してくれました、本当に日本に来て良かったと思いました。

インターンシップ期間中に楽しいことをたくさんしました。4週間の間で、私が経験したことのほとんどが初めての経験でした。初めに荒川コミュニティカレッジに行き、そこで講座の手伝いをしたり、話を聞いたりしました。次に保育園での仕事を1週間体験しました。子供たちと一緒に遊んだり、一緒にお昼ご飯を食べたりして楽しかったです。子供たちの笑い声や笑顔を見ていて私も嬉しい気持ちになりました。ウィーンの高校生が来た時も楽しい体験ができました。ウィーンの高校生と一緒にいろいろな場所に行きました。富士山に登山しました。山頂まで行けなかったのですが良い経験になりました。

荒川区長にもお会いしました。荒川ケーブルテレビの仕事を体験した時に、荒川区についてのビデオにたくさん区長が映っていたので、本人にお会いした時はとても驚きました。

いろいろな神社にも行き、日本独特の雰囲気を感じました。そしてスカイツリーに行きました。私のホームステイ先の家が見えました。すごかったです。

日本の食べ物はどれも美味しかったです。その中でもお寿司が美味しかったです。アメリカにもお寿司はありますが、断然日本のお寿司の方が美味しかったです。

日本語はとても難しいですが、これからも日本語の勉強を一生懸命頑張り、日本語がもっと上手になったらまた日本に来たいです。日本の文化にふれあうことも素晴らしい経験でしたが、私にとっての1番の思い出は日本の方々とのふれあいです。皆さんはとても優しく、親切なので最初は驚きました。私が困った時、知らない人に聞いても親切に教えてくださいました。日本はとてもいい国です。この4週間は、私にとって貴重でとても良い経験になりました。本当にありがとうございました。



「事務局便り」を e-mail で配信します！ ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局便りだけでなく、オーストリア観光局や東京都国際交流委員会メールマガジンの配信など、国際交流に関する様々な情報を提供しております。是非ご利用ください。

e-mail : bunka@city.arakawa.tokyo.jp